

第 2 回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

平成 29 年 9 月 21 日(木) 開催

第 2 回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会が 9 月 21 日(木)に開催されました。本協議会では、在宅医療・介護連携や認知症対策の現状把握、課題の抽出を行い、今後のあり方や取り組み方針について検討していくことを目的としています。会議資料および議事録については、市ホームページでご覧いただけます。



今回は、在宅医療・介護資源の現状把握を行いました。地図上に資源の目印を置く作業を委員の皆さんで取り組んでいただきました。

在宅療養を支える医療資源として、市内には在宅療養支援診療所 2 か所(昨年度まで1か所)、在宅療養支援歯科診療所 4 か所、訪問看護ステーション 2 か所などがありますが、全国平均と比較して低い設置率となっています。

今後、後期高齢者数が急増する中、住み慣れた地域で安心して療養でき、最期まで過ごせる体制を整える必要性について、共通認識を持つことができました。



課題別ワーキング活動報告

認知症対策WG

- 家族支援サービスの充実
 - 当事者支援の充実
 - 世代別の認知症周知啓発
- これらの取り組みについて、課題の整理や具体策を話し合っています。

救急時情報連携WG

6～9月までWGを3回開催し、『白井市救急医療情報シート』(下欄参照)を作成しました。今回の協議会で、内容について概ね承諾をいただきましたので、今年度中の配布に向けて準備を進めます。

多職種連携研修企画WG

多職種の連携を図るためと、各職種のスキルアップにつながるための様々な企画を医療・介護職のメンバーで考えています。今年は「嚥下、摂食機能」をテーマに多職種による事例検討を行うことが決まりました。

『白井市救急医療情報シート』とは、緊急時連絡先や関係機関、既往歴や服薬情報等を記した用紙をボトルに入れ、冷蔵庫に保管しておき、救急時の情報収集に役立てます。ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象に配布する予定です。

